



## 「令和元年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」に参加しました

8月7日（水）～8日（木）に、神戸国際展示場で「令和元年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」が開催されました。全国のSSH指定校および過去に指定経験のある学校（218校）並びに海外招聘校（23校）の代表生徒がポスター発表を行いました。本校からは、科学部4人が参加し、「サクラの葉による発芽・成長抑制」のポスター発表を行いました。



全体講評の中で次のようなアドバイスをされました。皆さんの研究活動や探究活動にも活かしていただきたいと思います。

- 高校生らしい研究をお願いしたい。
  - ・魅力的で、しっかり身近なものなどを見つめた研究テーマ
  - ・アイデアや実験が弱いものもあった。失敗してもよいので高校生らしく、チャレンジある研究をお願いしたい。
- 研究動機を明確にしてほしい。
- 先行研究との違いを明確にしてほしい。
  - ・特に、先輩からの継承研究では、自分たちの独自性を強調してほしい。
  - ・自分たち自身のきっかけが大切。
- 仮説と結論を明確に示してほしい。
  - ・問いや仮説、結論、それらの関係が不明確なものがあった。
- 研究手法の妥当性に配慮してほしい。
  - ・誤差、ばらつき、条件制御に対する考察が研究の差になって表れている。
  - ・使った道具、例えば、ソフト名などの記述が必要である。
  - ・生物統計など統計的処理には気をつけてほしい。
- ・AIでは工夫したことを明確にしてほしい。
- 発展的考察にも配慮してほしい。
  - ・結果の評価、考察からの追試やさらなる発展への検討もほしい。
- 実験ノートや生データなども公開して、具体的なチャレンジのプロセスを示してほしい。
- 一方的なプレゼンテーションにならないように、聞き手との対話も大切にしてほしい。
- 共同研究では、メンバー全員の深い理解がほしい。
- 企業連携があれば明記してほしい。
- 発表要旨は読み手を意識して作成してほしい。
  - ・発表での成果を想定できないものがある。
  - ・先行研究、特徴や成果の可視化、参考文献、出典年、謝辞
- 別途資料も用意して、専門外の聞き手にもわかるようにしてほしい。
- 発表では教師のサポートをしないでほしい。
- 以上のために、多くを学び、たくさんの経験、興味関心をもつ。

## 「科学へのとびら」に参加しました

8月8日（木）に佐賀大学で開催された「科学へのとびら」に理数科1年生が参加しました。同日開催のオープンキャンパスで、理工学部または農学部の学科のプログラムから興味のあるものを1つ受講し、その後、生徒どうしで情報共有を行いました。

また、当日は「親子で考える！理系進路の多彩な未来」と題し、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の永松愛子先生による講演会が開催されました。本校からは、高校生37人、中学生10人が参加しました。

## 「第21回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会（山口大会）」に参加しました

8月19日（月）～20日（火）に、山口県健康づくりセンターで「第21回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会」が開催されました。中国・四国・九州地区の理数科の生徒により、日頃の課題研究の成果が、ステージ発表（全16件）とポスター発表（全59件）されました。

本校からは、ステージ発表に「陸産貝類オオクビキレガイによる食害の防除法の検討」、ポスター発表に「土砂崩れにおける土がより崩れやすい条件」と「酸化チタンによる光触媒効果」の合計3班が出場し、それぞれ優良賞を受賞しました。